

京都マイクロコンピュータが新 JTAG デバッガ PARTNER-Jet3 を 2025 年春に製品化

2024 年 11 月 7 日

京都マイクロコンピュータ株式会社

京都マイクロコンピュータ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役 佐藤大介、以下 KMC と記載）は、JTAG デバッガ PARTNER-Jet3 を製品化し、2025 年春にリリースすることを発表します。PARTNER-Jet3 は、2004 年リリースの PARTNER-Jet、2014 年リリースの PARTNER-Jet2 1 の後継機であり、従来機の機能や使い方を維持しつつ、今後さらに進化していく「組み込みシステム」の開発現場で使い続けることができるようハードウェア・ソフトウェアの全てを再設計しています。

1 JTAG デバッガについて

JTAG デバッガは、電子回路基板上のマイクロプロセッサの JTAG ポートを利用して、プロセッサ内部のレジスタやメモリの内容を書き換えたり、ステップ実行させたりするデバッグ装置であり、従来から組み込みシステムの最も基本的なデバッグ装置としてソフトウェア開発者にとって不可欠な開発環境です。

KMC の現行機種である PARTNER-Jet2 では、ターゲットのプロセッサとして Arm®/RISC-V²/SuperH、64/32/16 bit、シングル/マルチコア構成に対応し、またベアメタル/リアルタイム OS/Linux 等のユーザ環境に対応したデバッグ機能を備えています。特徴的なデバッグ機能としては、高速で軽快なデバッグ操作や大容量トレース機能を利用した性能解析など、多くの皆様から評価をいただいています。

KMC は初代 PARTNER-Jet のリリース以来 20 年を超える期間において、組み込みシステムを開発するソフトウェア開発現場で活躍するエンジニアの皆様の様々なご要望や、お困りごとなどを直接お伺いし、デバッグ機能や操作性能を向上させてきました。同時に、Linux 対応やマルチコア構成など組み込みシステムの進化にもいち早く対応し、最先端の開発現場を支えてきました。

また、マイクロプロセッサを搭載した SoC ベンダーの皆様とデバッガに求められる機能の実現について意見交換をさせていただくなど、常に JTAG デバッガの進化を念頭に、機能・性能の向上を行ってまいりました。

JTAG デバッガは、今後も組み込みシステムの開発環境として更に進化を求められるものであり、KMC として今後もお客様のご要求にお応えできる製品のご提供をお約束していく使命を負っているものと考えております。

2 PARTNER-Jet3 について

今回リリースする PARTNER-Jet3 は、ハードウェアに関しては、安定して長期供給が可能となるよう使用する部品の全面的な見直しを行いました。またデバッグ機能の追加についても、ハードウェア部品を交換することなく PARTNER-Jet3 本体のファームウェアアップデートにより柔軟に対応できるような機構を採用しています。デバッガソフトウェアは、軽快で高速な操作性である従来の PARTNER デバッガの提供とともに、新しいデバッガソフトウェアも準備しており Visual Studio Code のプラグインも利用可能になります³。

販売開始時期やご提供プラン（価格・構成など）は、今後 KMC のホームページやメールマガジンで皆様にお知らせしてまいります。

ぜひ今後も進化し続ける KMC の JTAG デバッガ PARTNER-Jet3 にご期待ください。

※本資料に掲載されている情報（製品仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご承知ください。

商品名、会社名等は一般に各社の商標または登録商標です。

本件の問い合わせ先：京都マイクロコンピュータ株式会社

Mail to : jp-info@kmckk.co.jp

¹ <https://www.kmckk.co.jp/jet2/>

² RISC-V 用デバッガの開発について

この成果の一部は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託業務（JPNP16007）の結果得られたものです。

³ Visual Studio Code の全てのプラグインの動作を保証するものではありません。